

国立能楽堂 ショーケース

9月2日(水) 午後1時開演
9月3日(木) 午後7時開演

解説 佐久間 二郎
(シテ方観世流)

狂言【和泉流】
仏師
3日 高野 和憲
3日 野村 太一郎

能【観世流】
安達原
2日 観世 喜正
3日 中所 宜夫
終演予定 2日 午後3時頃
3日 午後9時頃

国立能楽堂
ショーケースとは
能や狂言は難しくわからない、能楽堂に行く機会がないといった皆様や、海外からお越しになられた多くの皆様方に能・狂言の魅力を感じていただくよう「ショーケース公演」を開催します。能と狂言をおよそ2時間でご覧いただけるコンパクトな内容で、初めての方でも気軽に楽しみたいだけだと思います。

●**国立能楽堂ショーケース**
仏師 すっぱ(許嫁師)は仏師になりすま像に化けますが、安達原の鬼女伝説

安達原 陸奥の安達原の怪しい一つ家で、隙を決して覗くと言われ渡りますが、後半、鬼女と山伏の緊迫したせめぎ合いが展開します。

手話狂言

9月5日(土) 午後1時開演

おはなし 黒柳 徹子 (女優)

佐渡狐 江副 悟史
シテ/佐渡のお百姓
アド/越後のお百姓
小アド/奏者 砂田 アトム

清水 小泉 文子
シテ/太郎冠者
アド/主 五十嵐 由美子

六地藏 江副 悟史
シテ/すっぱ 井崎 哲也
小アド/すっぱ 田家 佳子
小アド/すっぱ 長谷川 翔平

協力 社会福祉法人トット基金
演出・指導 三宅 右近
三宅 右近
三宅 近成
終演予定 午後3時15分頃

普及公演

9月12日(土) 午後1時開演

「花筐」における狂いの転換
西村 聡 (公立小松大学教授)

狂言【大藏流】
太刀奪 松本 正薫
シテ/太郎冠者
アド/主 丸網 石谷 やすし
アド/通りの者

能【宝生流】
花筐 森秀 充祥
シテ/照日の前
ツレ/侍女 金子 稲金
子方/雑体天皇 金子 森秀
ワキ/供奉官人 金子 稲金
ワキツレ/使者 金子 森秀
ワキツレ/興昇 金子 稲金
ワキツレ/興昇 金子 森秀

終演予定 午後3時45分頃
※解説の字幕表示はございません。

定例公演

9月18日(金) 午後6時30分開演

狂言【和泉流】
菊の花 佐藤 友彦
シテ/太郎冠者
アド/主 今枝 郁雄

能【金剛流】
天鼓 豊嶋 彌左衛門
前シテ/王伯 福王 茂十郎
後シテ/天鼓 井上 松次郎
ワキ/勅使 松田 弘之

終演予定 午後9時頃

企画公演

9月25日(金) 午後6時30分開演

◎素の魅力

小舞【大藏流】
住吉 福王 茂十郎

仕舞【金春流】
遊行柳 山本 東次郎
シテ 櫻 山本 則孝
シテ 櫻 山本 則孝

終演予定 午後8時45分頃

●**手話狂言** 狂言のもつ強靱さと手話の豊かな表現力が融合され、世界中で上演を重ねてきた「手話狂言」を国立能楽堂主催公演で初めて上演します。

佐渡狐 佐渡に狐はいるのか、佐渡と越後の百姓が言い争いになります。

清水 茶の湯のための水を汲みに行くよう命じられた太郎冠者は、面倒なので鬼が出たと嘘をつきますが、

六地藏 すっぱと仲間たちは、地藏を買って来た田舎者をだまそうと、仏師と地藏に化けますが、

太刀奪 主人と太郎冠者は通りすがりの男が持つ太刀を奪おうとしますが、逆に太刀を取られてしまいます。その太刀を取り返そうと二人は男を待ち伏せしますが、

菊の花 太郎冠者は主人に無断で都見物。菊の花を頭に差していると、美しい貴婦人が和歌を詠みかけられ、祇園へと行きます。

天鼓 美しい音の出る鼓を持つ少年天鼓は、鼓を召す帝の命に背き川へと沈められます。管絃で申われた天鼓の聲は鼓を奏で奏を舞い、妙なる鼓の音が秋の夜空に広がります。

●**素の魅力** 面や装束を着けずに、演者の声や動きそのままをお楽しみいただく企画です。武将・平忠度の霊が、自分の歌が千載集に詠人知らずと書かれたことを嘆き、一ノ谷の合戦の様子を語ります。風雅な武將に焦点をあてた修羅能を堪能をご覧ください。

終演予定 午後3時15分頃

終演予定 午後9時頃

終演予定 午後8時45分頃